

株主の皆様へ

第69期中間事業のご報告

2019年4月1日から2019年9月30日まで



福留ハム株式会社

証券コード2291

CONTENTS

株主の皆様へ.....	1
当中間期の概況.....	2
セグメント別の概況.....	3
セグメント別売上高.....	3
通期の見通し.....	4
中間連結財務諸表.....	5
会社概況.....	8
株式概況.....	9



代表取締役社長 中 島 修 治

株主の皆様には、ますますご清栄のことと拝察申しあげます。平素は格別のご支援を賜わりあつくお礼申しあげます。

ここに第69期中間事業のご報告をお届けいたします。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご指導を賜わりますようお願い申しあげます。

2019年12月

当中間期の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、企業収益の持続や雇用・所得環境の改善がみられるなど景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。その一方で、個人消費は一部持ち直したものの、10月からの消費税増税の影響からくる景気の下振れ懸念や将来不安からくる節約志向、さらには不安定な海外情勢や米中貿易摩擦の長期化など、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、「お客様第一にあふれる味覚をお届けします」をモットーに「安心・安全・美味しさ」を追求し、創業100周年を迎え経営理念のさらなる浸透を図るとともに、コンプライアンスを重視した社員教育を実施いたしました。また、製造コスト等の上昇が当社の経営を強く圧迫する要因となっている状況のなか、作業効率の改善や仕入の見直しを重視し、コスト削減努力を継続してまいりました。そして、5月には、高生産性で品質管理を徹底させた新たな拠点として、岡山昴工場(岡山県浅口市)が本格的に稼働いたしました。

販売に関しましては、「花ソーセージ」「JAS特級あらびきポークウインナー」のCM放映に加え、4月より毎月100名様に商品詰め合わせセットが当たる「おかげ様で100周年キャンペーン」を実施し、販売強化を図ってまいりました。また、商標登録ブランド「ロマンティック街道」シリーズに加え、オリジナル商品「花ソーセージ」や昨年発売を開始いたしました次の100年に向けたブランド「昴ブランド」などの重点商品の販売・販路拡大に努めてまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は、消費者の節約・低価格志向や競合他社との価格競争の激化などにより、127億39百万円(前年同期比0.7%減)となりました。利益につきましては、国産豚肉相場の変動や製造コスト、物流コスト等の上昇などにより、営業損失は2億64百万円(前年同期は営業損失54百万円)、経常損失は2億41百万円(前年同期は経常損失33百万円)となりました。中間純損益につきましては、繰延税金資産の取り崩しにより、法人税等調整額5億57百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する中間純損失は8億38百万円(前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失43百万円)となりました。

セグメント別の概況

●加工食品事業

加工食品事業につきましては、消費者の節約志向が続くなか、「JAS特級あらびきポークウインナー」や「肉厚ハンバーグ」、「ローストビーフ」、「ローストポーク」が堅調に推移しました。また、新商品としてポーク&チキンのボロニアソーセージをステーキタイプにスライスした「ソーセージステーキ」を発売しましたが、全体の落ち込みをカバーするまでには至らず、企業間競争の激化等により売上高は減少いたしました。利益面におきましては、原材料価格の上昇や動力費等の製造コストの上昇により前年同中間期を下回りました。

その結果、売上高は55億76百万円（前年同期比2.5%減）となりました。

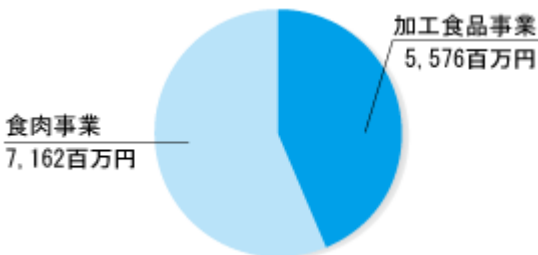
●食肉事業

食肉事業につきましては、国産牛肉は、市場ニーズに合った販売が堅調に推移し、売上高、販売量とも増加いたしました。国産豚肉は、販売量が増加したものの競争激化や国産豚肉相場の変動により売上高は減少いたしました。輸入牛肉は、米国産、豪州産、ニュージーランド産牛肉が堅調に推移し、売上高、販売量とも増加いたしました。輸入豚肉は、競争激化により売上高、販売量とも減少いたしました。

その結果、売上高は71億62百万円（前年同期比0.7%増）となりました。

セグメント別売上高

区 分	売 上 高	構 成 比	前年同期比
加工食品事業	5,576百万円	43.8%	△2.5%
食 肉 事 業	7,162百万円	56.2%	0.7%
合 計	12,739百万円	100.0%	△0.7%



通期の見通し

通期の見通しにつきましては、景気の動向は依然として先行き不透明であり、国産豚肉相場の変動、企業間競争の激化や人手不足等による労働コスト・物流費の上昇などにより厳しい状況で推移するものと予測されます。

このような状況のなか、当社グループは、「花ソーセージ」「JAS特級あらびきポークウインナー」のCM放映のエリア拡大や抽選で毎月100名様に当たる「おかげ様で100周年キャンペーン」の販売強化、情報誌「ザ・プレミアムブック」の継続発刊等により、さらなる認知度の向上に努めてまいります。また、ギフト販売におきましても、福留ハムの創業100周年、新元号“令和”を記念した特別商品「創業100周年記念ギフト」を発売し、製品ラインアップの拡充と販売強化を図り、新規顧客拡大に努めてまいります。さらには、作業効率の改善や仕入の見直し等の業務の効率化を重視し、生産性向上に努め、さらなるコスト削減努力を図るほか、当社グループのモットーであります「安心・安全」な商品造りに注力してまいります。

通期の連結業績につきましては、売上高は256億円（前期比0.5%減）、営業損失は4億20百万円（前期は営業損失1億49百万円）、経常損失は3億70百万円（前期は経常損失1億9百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失は8億50百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純損失3億19百万円）を予定しております。

中間連結財務諸表

● 中間連結貸借対照表

	当中間期	前中間期	前 期
科目	2019年9月30日現在	2018年9月30日現在	2019年3月31日現在
資産の部			
			単位：百万円
流動資産	6,533	6,956	7,184
固定資産	10,134	10,855	10,646
有形固定資産	7,921	7,395	7,901
無形固定資産	28	40	29
投資その他の資産	2,184	3,419	2,715
資産合計	16,667	17,811	17,831
負債の部			
流動負債	7,770	8,041	8,203
固定負債	4,035	3,073	3,715
負債合計	11,806	11,114	11,918
純資産の部			
株主資本	4,381	5,546	5,270
資本金	2,691	2,691	2,691
資本剰余金	1,503	1,503	1,503
利益剰余金	266	1,431	1,155
自己株式	△80	△80	△80
その他の包括利益累計額	479	1,150	641
その他有価証券評価差額金	561	1,224	707
退職給付に係る調整累計額	△81	△74	△65
非支配株主持分	0	0	0
純資産合計	4,861	6,697	5,912
負債及び純資産合計	16,667	17,811	17,831

(注) 百万円未満の金額は切捨て表示しております。

●中間連結損益計算書

	当中間期	前中間期	前 期
科目	2019年4月1日から 2019年9月30日まで	2018年4月1日から 2018年9月30日まで	2018年4月1日から 2019年3月31日まで
単位：百万円			
売上高	12,739	12,833	25,737
売上原価	10,645	10,538	21,185
売上総利益	2,094	2,295	4,551
販売費及び一般管理費	2,358	2,350	4,701
営業損失	△264	△54	△149
営業外収益	73	70	136
営業外費用	50	48	97
経常損失	△241	△33	△109
特別利益	-	-	55
特別損失	27	-	76
税金等調整前中間 (当期)純損失	△268	△33	△131
法人税、住民税及び 事業税	12	9	27
法人税等調整額	557	0	160
中間(当期)純損失	△838	△43	△319
非支配株主に帰属する 中 間 純 利 益	0	0	0
親会社株主に帰属する 中 間 (当 期) 純 損 失	△838	△43	△319

(注) 百万円未満の金額は切捨て表示しております。

●中間連結キャッシュ・フロー計算書

	当中間期	前中間期	前 期
科目	2019年4月1日から 2019年9月30日まで	2018年4月1日から 2018年9月30日まで	2018年4月1日から 2019年3月31日まで
単位：百万円			
営業活動によるキャッシュ・フロー	293	89	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△545	△1,022	△1,447
財務活動によるキャッシュ・フロー	△49	98	1,066
現金及び現金同等物の増減額	△301	△833	△378
現金及び現金同等物の期首残高	2,738	3,116	3,116
現金及び現金同等物の中間期末（期末）残高	2,437	2,282	2,738

(注) 百万円未満の金額は切捨て表示しております。

会社概況

●会社概要

(2019年9月30日現在)

設立	1958年3月22日
資本金	26億9,137万円
従業員数	連結395名
本社	広島市西区草津港二丁目6番75号
支社	東京支社
営業部	福岡営業部・広島営業部・岡山営業部 関西営業部
支店	山口・松山・高松・北九州 佐賀・大分・熊本
営業所	呉・松江・広島北・徳島 長崎・熊本南・鹿児島・宮崎
工場	広島・熊本・岡山
直販店舗	外食：(焼肉一番団楽) 千田店・草津南駅前店 L E C T店 精肉： 到津店・砂津店・太宰府店

●役員

(2019年9月30日現在)

代表取締役会長	福中	原島	康修	彦治
代表取締役社長	福中	原島	修治	彦彦
代表取締役副社長	福中	原島	治博	幸治
取締役副社長	目草	貫場	啓利	行誠
専務取締役	砂原	田孝		司貢
常務取締役	越中	智野	千	秋弘
常務取締役	吉明	田石	裕嘉	二典
常勤監査役	白立	井岩	公弘	哉弘
常勤監査役				
常勤監査役				
常勤監査役				

株式概況（2019年9月30日現在）

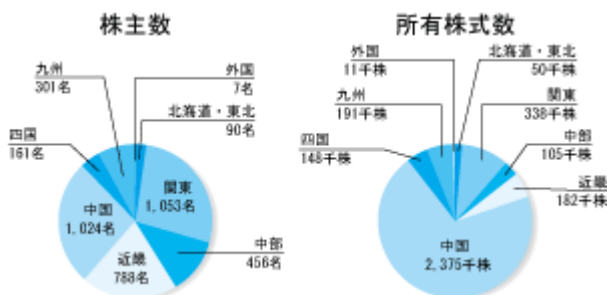
●株式の状況

- ① 発行済株式の総数 3,336,948株
（自己株式63,052株を除く。）
- ② 株主数 3,880名

●大株主

株主名	大株主の当社への 出資状況	
	持株数	持株比率
	千株	%
有限会社福留興産	1,042	31.25
福栄会	337	10.10
福原康彦	129	3.89
中島修治	77	2.33
株式会社フジ	63	1.89
株式会社もみじ銀行	62	1.87
福原治彦	61	1.84
株式会社広島銀行	48	1.45
株式会社伊予銀行	46	1.39
株式会社福岡銀行	46	1.39
株式会社西日本シティ銀行	46	1.39

●地域別株式分布状況



株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中に開催
基準日	定時株主総会については毎年3月31日 その他必要あるときは、公告して定めた日
剰余金配当株主確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
公告方法	電子公告 (アドレス http://www.fukutome.com) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 貸借対照表および損益計算書については、 EDINET に掲載いたしております。
株式事務取扱場所	
株主名簿管理人	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社
事務取扱場所	福岡市中央区天神二丁目14番2号 日本証券代行株式会社 福岡支店
郵便物送付先	〒168-8620
お問合せ先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 (各種届出用紙のご請求・其他のご照会) ☎0120-707-843
上場取引所	東京証券取引所市場第二部 証券コード (2291)
単元株式数	100株